

式 辞

世界中に拡散している、「新型コロナウイルス感染症」の影響は、日増しに、社会全体や私たちの生活に脅威を与えると共に、私たちの心の中に暗い不安を広げています。

今日の入学式においても、このように縮小した形で行わなければならないことに、保護者の皆様も残念なお気持ちであり、私たち職員も心苦しい思いです。今後の、教育活動にも様々な影響を与えたいと思われませんが、何卒、ご理解いただき、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

しかし、そんな不安を吹き飛ばしてくれるような、十二名の元気な一年生が入学してくれました。担任の寺坂先生に名前を呼ばれて、元気よく大きな声で返事をする一年生の児童の声を聞くことができ、私はとっても安心しました。十二名の一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

一年生の皆さんは、これまでに、伊佐小学校に来て、今の二年生や六年生と一緒に遊んだり、運動会や学習発表

会で一緒に活動したりしていますので、少しは伊佐小学校のことを知っていると思います。

でも今、心の中は、「どんな勉強をするんだろうな」、「小学校の先生ってどんな人なんだろうな」「お兄さんやお姉さんとは、ちゃんとお話ができるかな」と心配や不安なこともあるかも知れません。

心配しないでください。先生方は、皆さんに一生懸命、勉強や小学校の生活について教えてくださいます。皆さんのお話もちゃんと聞いてくださいます。

お兄さんやお姉さんたちも、とっても優しく、皆にいろいろなことをお話してくれます。学校に来るときも帰るときも、守ってくれます。そして楽しい行事や遊びも一緒にしてくれます。そんな先生たち、お兄さん、お姉さんたちばかりです。皆さんと、先生たち、そしてお兄さんやお姉さんたちと一緒に、楽しく、明るい学校生活を過ごしましょう。

今日の入学にあたり、一年生の皆さんに頑張ってほしいことをお話します。

一つ目は、「好き嫌いをせず、何事にも取り組む」ということです。「好き嫌い」と言うと、食べる物の好き嫌いを思い出しますが、それだけではなく、小学校では、いろいろな勉強をします。いろいろな行事もあります。どんなことにもあきらめず、最後まで頑張って取り組んでください。

二つ目は、「周りの人を大切にする」と言うことです。もっと簡単に言えば、「みんな仲良くする」ということです。時にはケンカだってするし、嫌だなんて思うこともありますが、お互いに話し合ってみましょう。そうすれば、「ああ、そうだったのか」とわかることもあります。仲直りもできます。話し合ったり、相手の気持ちを考えたりすることが、「周りの人を大切にする」と言うことになります。

三つ目に、「命を大切にする」ということです。伊佐小学校には、「命はひとつ」という言葉が教室に貼ってあります。命があって、心も身体も健康で、毎日学校生活が送れることが一番です。

「好き嫌いをせず、何事にも取り組む」、「周りの人を大切にする」、「命を大切にする」この三つに取り組んでください。お兄さんや、お姉さん、先生たち、おうちの人、地域の人、みんなで、応援しています。

上級生の皆さん、新入生を迎えるために、一生懸命準備をしてくれました。ありがとうございます。一年生には、わからないことがたくさんあります。そのことを、一年生にわかりやすく教えてあげられるのが、あなたたちです。ちょっと目線を下げて、ゆっくりと、優しい言葉で、丁寧に教えてあげてみましょう。そして、全校児童、七十三名みんなで力を合わせて、楽しく素晴らしい伊佐小学校にしていきましよう。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。職員一同、心からお祝い申し上げます。新しい環境、新しい学校生活、子どもたちにとっては、劇的な変化であり、幼いながら気を遣っての生活が始まります。保護者の皆様にとりましても、心配や不安になることもあろうかと思えます。どうか、微妙な心の変化や、がんばりを感じ取っていただき、親子も絆を深め、成長し合う一年でありますことを、願っております。

私たち職員も、ご家庭との連携を密にして、全力で教育活動を推進して参ります。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

それでは、一年生の皆さん、明日からの学校生活を元気に過ごしましょう。

以上で式辞といたします。

令和二年 四月八日

養父市立 伊佐小学校長 小西 誠司